

10月29日（金）木工作品作り

昨日、イラストレーターの『たかはしちかえ先生』が来校され、子どもたちと図工の作品作りを楽しみました。

『たかはしちかえ』先生の作品は、以下のような作品です。



松江市を拠点とされて、本の表紙や市議選のポスターなど描かれているそうでどれもすてきな作品です。

まず、たかはし先生の夢について語っていただきました。イラストレーターのみならずスリランカ料理店でも働いておられスリランカが大好きで何度も行かれています。そのような話を子どもたちにさせていただくところから始まりました。



子どもたちに大人が夢を語り、歩んできた人生を語るってすばらしいと思っている私はとてもいい時間だと思いました。

スリランカという異文化の話も子どもたちに視野を広げるいい機会だと思いました。なにしろ象が普通に歩いている世界ですから。



その後、木工作品作りに挑戦しました。丸太を切った木の素材に下絵を書き、アクリル絵の具で好きな絵を描いていきます。

いつもながら子どもたちが感性に導かれ早々と取り組み始めます。

たかはし先生と「子どもはすごいですよね。感性で描き始めて、その作品がまたすてきなんですよね。」会話しました。





アクリル絵の具やポスカ（マジック）
を使用して作成します。



児童の感想を紹介します（文責：校長）

僕は自分で切った木を作ってイラストをかきました。

かぶとむしの絵をかきました。はじめはかぶとむしだけ書いてはいけいほどうしようかなやみました。とりあえずぬってみようと思ってかぶとむしやそのまわりをぬってみました。

するとだんだんアイデアがうかんできていろんな色を重ねぬりしました。

高橋先生に「すごいじゃん。」と言ってもらえてうれしかったです。

はじめてつかう絵の具だったけれど、上手にできたと思います。早くかざりたいです。(4年 天才バスケットマンさんより)